

株式会社UNOKOU

2023年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023年8月～2024年7月)



キッチン

トイレ・洗面



お風呂



環境省
エコアクション21
認証番号 0004282

発行日： 2024年8月31日

□ごあいさつ

当社は環境に優しい工法をつづけるため、全員参加でエコアクション21に取り組みました。
ここにその活動を報告いたします。

代表取締役 宇野 充英

環境経営方針

<環境理念>

当社は、①深刻化する地球温暖化・地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題であること、また、②建設業が、社会基盤を担う産業であり、環境問題と大きく関わる産業であるという認識に立ち、当社の事業活動による環境負荷の低減を図るため、全社一丸となって環境経営システムを構築・運用・維持・改善していくことで、自主的・積極的に環境保全活動に取り組み継続的改善を図っていきます。

この取り組みを通じて、当社は、事業活動の拠点である大阪市から関西地区、さらには地球全体の環境の改善につながると考えております。

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 建設資材の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進
3. 水資源の節水
4. 環境によい施工方法の推進
5. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日：2009年4月1日

改定日：2019年9月1日

代表取締役社長

宇野 充英

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社UNOKOU

代表取締役 宇野 充英

(2) 所在地

本社 〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南3丁目2-22

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 宇野 充英 TEL：06-4259-2606

担当者 総務部 澤田 みづき

(4) 事業内容

建築業

(5) 事業の規模

売上高 410 百万円

従業員 9 名

延べ床面積（事務所） 281 m²

(6) 事業年度

8月～7月

(7) 建設業の許可 大阪府知事許可（般-1） 第123641号 土木工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、管工事業

大阪府知事許可（特-4） 第123641号 建築工事業、大工工事業、石工事業、とび・土工・板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業
左官工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、鉄筋工事業
解体工事業、鋼構造物工事業、

(8) 産業廃棄物収集運搬業許可

西宮市 許可の有効年月日 令和7年2月23日 許可番号：第02804153055

大阪府 許可の有効年月日 令和7年3月11日 許可番号：第02700153055

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：

株式会社UNOKOU

本社

〒537-0002 大阪府大阪市東成区深江南3丁目2-22

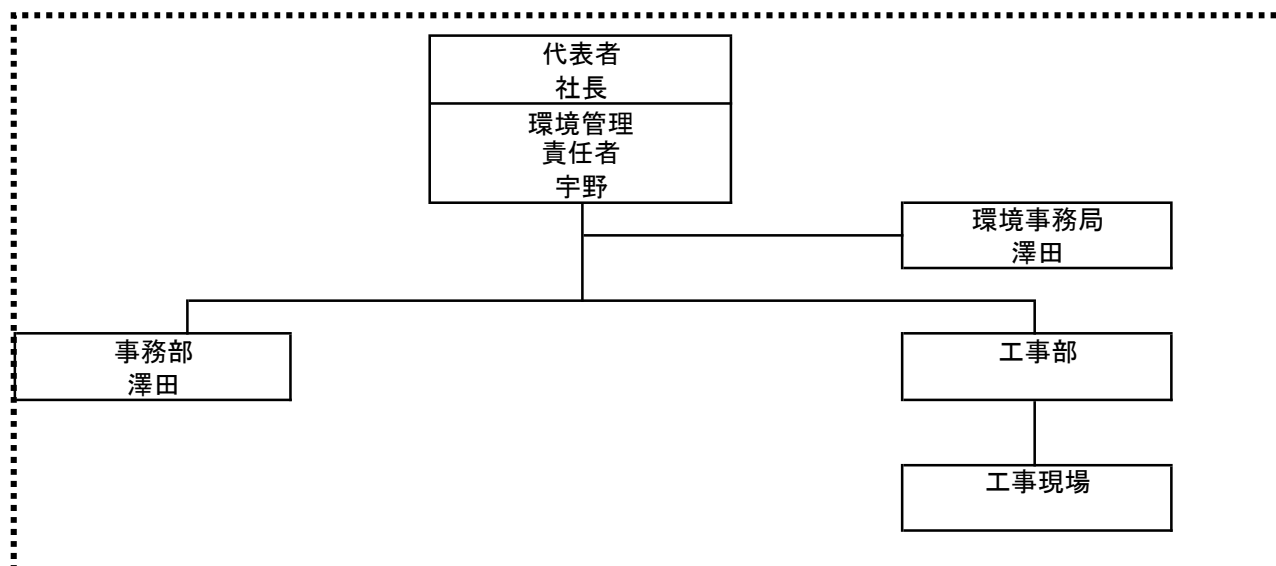
活動：

建築業



リフォーム

□実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
現場責任者	- 工事現場における環境方針の周知 - 工事現場の従業員に対する教育訓練の実施 - 工事現場に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 工事現場に必要な手順書の作成及び手順書による実施 - 工事現場の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 - 試行・訓練を実施、記録の作成 - 工事現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	44,804	46,431	37,422
二酸化炭素排出係数	kg-CO ₂ /kWh	0.333	0.470	0.411
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物量排出	トン	0.36	0.36	0.36
産業廃棄物排出量	トン	—	—	—
水使用量	m ³	25	31	27

(注) 2021-2023年は産業廃棄物については下請の為ありません。

□環境経営目標・実績

年 度 項 目		基準値 (基準度)	2023年		2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素削減	kg-CO2	6,143	6,082	7,426	6,020	5,959
	基準年比	2022年	99%	121%	98%	97%
自動車燃料の二酸化炭素削減	kg-CO2	39,406	39,011	29,996	39,011	38,617
	基準年比	2022年	99%	76%	99%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	45,549	45,093	37,422	45,032	44,576
一般廃棄物の削減	kg	360	360	360	360	360
	基準年比	2022年	100%	100%	100%	100%
産業廃棄物の削減	トン	下請け工事	—	0.00		
	基準年比	の為無し	—	—		
水道水の削減			基本水量以下の為、目標値を設定せず。			
環境によい施工の推進			環境活動計画書に示す			

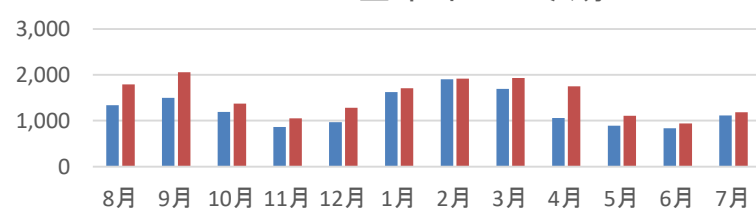
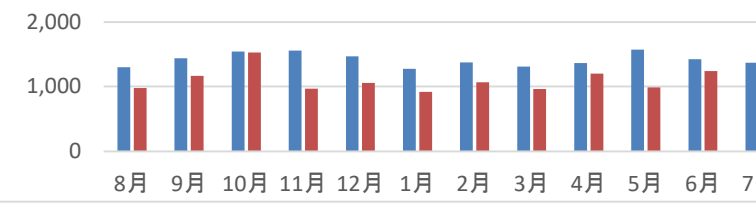
電力会社：㈱エネクスライフサービス
採用年度：2022年 7月
調整後排出係数：0.411 kg-CO₂/kWh



リフォーム事例

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画
 事務所

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	継続／変更	評価と次年度の取組計画
電力の二酸化炭素削減			
数値目標	×		
・冷房28℃ 暖房20℃の徹底	○	継続	目標未達成 事務所3階・4階と、今まで使用しなかった階を使うようになった為 これまでの使用電力より大幅に増えた。 2024年度は2023年度を基準とする。
・クールビズ・ウォームビズ運動を展開する	○	継続	
・不要な電灯は消す	○	継続	
・夏場は網戸による外気の利用	○	継続	
■基準年 ■今期 			
自動車燃料の二酸化炭素削減			
数値目標	○		
・エコドライブ [※] 運動のため運転席にシールを貼る	○	継続	目標達成。 近くの工事が多く効率的な活動ができて、二酸化炭素の削減が目標値を下回った。 次年度も継続して取り組む。
・アイドリングストップ	○	継続	
・急加速・急ブレーキの抑制	○	継続	
■基準年 ■今期 			
一般廃棄物の削減			
数値目標	○		
・裏紙使用	○	継続	目標達成。 ミスコピーの裏をメモ用紙代わりにしたり 試しコピーに使用したり、再利用している。 次年度も継続して取り組む。
・古紙のリサイクル化	○	継続	
・ミスコピーをなくす	○	継続	
・無駄なコピーをしない	○	継続	
産業廃棄物の削減			
数値目標	—		
・分別の徹底	○		産業廃棄物の発生はない。
・廃棄物の削減に努める	—		
水道水の削減			
数値目標	—		
・水を出しっぱなしにしない等節水に取り組む	○	継続	使用階が増えたため、トイレ、洗面使用が増えた為
・節水シールの貼り付け	○	継続	
環境によい施工の推進			
・水性塗料の採用	○	継続	環境にやさしい方法で務めた。 次年度も環境に配慮した施工に努める。
・廃棄物は可能な範囲で分別	○	継続	
・騒音に注意して施工	○	継続	
・住宅設備機器の省エネ、節水型の提	○	継続	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	廃プラ、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、がれき類の廃棄	○
建設業法	事業の許可	○
建設リサイクル法	新築、改修、解体工事等で発生する特定建設廃棄物	○
騒音規制法・振動規制法	現地工事での空気圧縮機を用いる作業、杭打ち作業等	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	○
大阪府生活環境保全条例 （大阪府自動車流入規制）	排出基準適合車	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守され違反はありませんでした。
 また、訴訟などありませんでした
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありませんでした。

□外部からの苦情等
 ☒なし
 ☐あり

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災	
■実施日： 2024/6/14	■実施場所 事務所
■参加者： 全員	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 手順書の変更： ☒ なし ☐ あり（ 事務所で火災が発生したと想定し、通報・消火・避難は問題なく実施できた。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2025 年7月1日

例年同様、夏は網戸で風の通りをよくし、エアコン使用頻度を減らしている。ファンを付けているので空気を回転させて夏も冬も設定温度を抑えることができた。
 電力の使用箇所が増えた為、目標未達成ですが、他項目は意識をもって活動したことにより、効果が出ていると思います。
 世間のペーパーレス化により、紙(コピー用紙)使用量も削減傾向にある。
 工事現場では今後も、騒音対策や廃棄物の適正処理を確実にやっていく。
 地球温暖化対策として省エネに貢献すべく、住宅のリフォーム工事では、省エネや節水に繋がる施工や機器の提案を行っています。
 【環境方針、環境目標・計画、実施体制など変更の必要性無し。】